令和6年度 事業報告

－令和5年度補正予算－

○デフレ完全脱却のための総合経済対策
○防災・減災、国土強靱化のための５ヶ年加速化対策

◆北海道開発事業費総額　1,６４９億円

－令和6年度予算－

○生産空間の維持・発展による食料安全保障及び観光立国の強化
○ゼロカーボン北海道の実現
○安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくり

◆北海道開発事業費総額・・・	５，６０９億円	対前年比１００．４％
・治山治水	１，０２２億円	〃　１００．０％
・道路整備	２，１８９億円	〃　１００．０％
・農業農村	７９５億円	〃　１００．１％
・森林整備	５８億円	〃　９９．７％

◆受注状況 ＜金額：税抜き＞
・発注３官庁（札開・札建管・空知農業）が発注した当初契約額
⇒ ９５３億円　（対前年比　９９．８％）
・その内、正会員・準会員・その他空知管内企業が受注した当初契約額
⇒ ４５６億円　（対前年１０１．０％）
・その内、正会員が受注した当初契約額
⇒ ４３６億円　（対前年比１００．７％）

－上記予算執行を背景に当協会として－

◇労働・交通災害防止**”撲滅強化年”**と位置付け、安全パトロールなどの強化を図った結果、大きな事故も無く目的をほぼ達成することが出来きました。
◇強靭な国土づくり及び地域の発展と住民生活の安全・安心の確保のため、発注機関や関係部署と充分な連携と情報交換などを行い、建設業の責務を果たすことが出来ました。
◇各委員会による各種取り組みを計画どおり行うことが出来ました。
又、創立７５周年祝賀会の開催及び記念史を発刊することが出来ました。

―各委員会における事業の取り組み結果―

【総務委員会】

○これまで実行委員会等で準備を進めてきた創立７５周年記念事業について、９月１２日に１３４名出席のもと「創立７５周年記念祝賀会」を開催し、１０月には７５年記念史「つながる空知」を発刊したほか、北海道開発局などが主催する「共創による地域づくりシンポジウム」を後援し、サイドイベントを行うなど、記念事業を計画どおりに実施することができました。

○継続課題や各委員会活動の所掌のため、各委員会における活動状況を確認するなど、協会事業全般的な検討を進めて参りました。

【広報・企画委員会】

○地域創生フォーラムについて・・・出席者：２８９名

空知地域の経済活性化を図る目的で継続してきた本フォーラムを１１月１８日に開催しました。

今回は『共に空知の未来を創る』 －豊かな空知を－ をテーマに、株式会社レバンガ北海道代表取締役ＣＥＯ横田陽氏、一般社団法人北海道プロ野球独立リーグ代表荘司光哉氏に講演を行って頂きました。

○第９回経営塾道外研修について

人材育成や入職促進・職員の定着等、先進的な経営を実践している企業から経営のヒントを学ぶため毎年実施しており、今回は広島県内２ヶ所で研修を行ってきました。

☆１ヶ所目＜ＫＭユナイテッド＞

建設業の業務効率化・生産性の向上に向け、段階的・計画的に社員教育を行い人材育成に成果を上げている実情を研修して参りました。

☆２ヶ所目＜東洋電装＞

アナログからデジタルへの移行で徹底した「見える化」を実践。

執務や会議の状況、出勤・退社時の状況が全て画面上で確認出来る会社環境を研修して参りました。

○新入社員研修会について

ビジネスマナーを学ぶため４月５日に実施し、会員企業の新入社員２８名の参加の下、講師の荒木コンサルティングオフィス代表　荒木正芳氏から、建設会社で働くために必要な知識や建設業の現状・魅力についてご教授頂きました。

○コーチング研修について

３月８日開催の若手職員指導・育成研修では、先輩社員を対象として若手職員の育成の取説・会社全体でのＯＪＴの進め方・計画の立て方を学び、若手職員の成長と定着率向上につなげる研修を㈱創成マネジメントに講師を依頼し実施いたしました。

○その他

「岩見沢農業高等学校との連携授業」「現場見学会」「重機写生会」「高校生による

インターンシップ」「学校キャラバン」「学校訪問」などを実施して参りました。
特に、今年度から実施した岩見沢農業高等学校「出前授業」では、学校側からの要望で普段の測量授業では学ぶことの出来ない測量実習（光波・ＧＮＳＳ・レベルの原理及び測定方法、丁張り設置）を行って参りました。
更には、「北海道高等学校進路指導協議会 空知支部研究協議会」へ参加し建設業の魅力を発信すると共に入職促進に努めて参りました。

【安全・労務委員会】

○交通安全・労働安全、暴力追放を目的とした建設産業安全大会を「全国安全週間」準備期間前の５月１５日に開催し、今年度も「交通災害･労働災害撲滅強化年」と位置づけ、「三大災害絶滅」を最重点目標に、労働災害・交通事故の絶滅に向けて数多くの現場パトロールを実施して、安全意識の啓発に努めて参りました。

○労務研究会活動においては、労働条件改善に向けて労務賃金・労務管理・安全衛生にかかる取り組みを進めて参りました。中でも公共事業労務費調査の概要や重要性を認識して頂くため説明会・事前相談会を実施し、適正な労働時間管理・賃金管理を行い、実態に即した労務単価となるよう指導して参りました。

○労働安全衛生法の遵守事項など作業計画の目的や内容、危険予知活動など現場入場時における基本事項について学んで頂くため、新入社員を対象に労働安全衛生教育研修を実施いたしました。

○安全衛生水準の向上を目的とした全国大会へ委員を派遣し、最新の安全衛生管理の成果について会員に報告を行いました。

【建設委員会】

○発注３官庁を対象としたと意見交換会を開催し、各会員から頂いた要望事項の内容を委員会で整理しポイントを絞って協議を行い、今後の工事を円滑に進められるよう議論を行って参りました。

（実施回数：札幌開建１回、空知振興局 農業１回）

○北海道農政部では委託成果品の品質向上・施工現場の効率化を目的に施工者が施工アドバイザーとして参画する「設計内容検討会」に建設委員を派遣し、施工上課題のある現場の安全対策や施工方法について協議いたしました。

（実施回数：１回）

○建設業の現状・課題の把握や現場のマネジメントの重要性、新技術の活用など現場技術者の技術力の向上を目的としてた「現場技術研修」を開催いたしました。

以上、各委員会の取り組みについて下記の１１項目を鑑み、それぞれの独自性を活かし活動をほぼ当初計画どおり実施することが出来ました。

記

１　コンプライアンスの徹底に向けた取り組み

２　入札・契約制度の改善に向けた提言と要望

３　会員の経営体質強化に向けた人材育成への取り組み

４　広報活動の充実と会員相互のネットワークの確立

５　建設業経営効率化に向けた取り組み並びに設計、積算、施工の要望に関する意見交換会の充実

６　生産性向上に向けたＩＣＴ技術の普及

７　ゼロカーボン推進への取り組み

８　労働災害・交通事故防止・暴力団対策の啓蒙・啓発活動の実施

９　災害防止策の実施、緊急災害対応への実践活動

１０　各種研修事業の計画的実施並びに人材育成に伴う高校生現場見学会等の継続的な実施

１１　会員相互の親睦と融和に向けた事業の取り組み